

後援会だより

秋の味覚市& café

10月13日(金) 11時~13時

今年も、あまーち後援会が主催する味覚市が開かれました。毎年のことなのですが、味覚市の日まで新米購入を我慢し、その日の晩御飯で食べる新米のおいしさは格別です。そして、今年こそはYouTubeで予習したので、楽に剥けるはずの栗の渋皮剥きに、やはり四苦八苦し、その疲れを取るためと称して飲むビールのアテの丹波黒豆の塩茹でが五臓六腑に染みること染みること。

秋になって秋の味覚を堪能する、その幸せを今年も噛みしめました。



『はたらく仲間のうたカレンダー』

壁掛け 1,350円
卓上 1,130円

きょうされん冬季物品のご購入の協力を頂き誠に有難うございました。なかまのうたカレンダーは、まだ販売しております。この収益は、物品と同じくなかまの冬のボーナスとなります。是非購入をお願いします。

第47次国会請願・署名カンパ活動が始まりました。署名用紙がお手元に届きましたら、ご協力お願い申し上げます

あまーち後援会は社会福祉法人あまーちの運営・事業を支えるために活動しています。会員になって私たちの活動を支えてください。
・年1回後援会総会を開催します。会員は総会に参加できます。・各種イベントに参加できます。
・会報誌「うおっちゃんぐ」を年4回お届けします。
・会費は後援会の運営費として活用させていただきます。

後援会活動

・チャリティコンサート・バザー・物品販売・広報委員会・その他活動

*個人会員 年額 1口 2,000円 *賛助団体 年額 1口 10,000円

募金にご協力をお願いします

どのような障害のある人もいきいきと活動できる医療的ケアを保障した通所施設の資金づくりに今後ともご協力をお願いします。

物品の提供にご協力下さい

ご家庭で眠っている物品(衣服・台所用品・寝具等)のご提供をお願いします。(新しいもの限定でお願いします)

<会費振込先>

口座番号: 00950-6-130292

<加入者名>

「あまーち後援会」

<お問い合わせ>

あまーち 橋本

☎ 06-6438-6002

これって法律問題?分からなくても大丈夫です。一人で悩まず、気軽にまずはご相談を。

☎530-0047 大阪府大阪市北区西天満3-4-4

イワイビル 5階

☎(06) 6363-1040

mail:sul@lawyers.jp

弁護士 薛 史愛

※地下鉄谷町線南森町駅

JR東西線大阪天満宮駅徒歩10分



社会福祉法人・NPO法人の会計・税務・監査

多田公認会計士事務所

TEL: 0798-67-8762

西宮市大畑町2-29 サーティ北口103

阪急西宮北口駅徒歩8分

ksks あまーち うおっちゃんぐ 100号

LINE@

あまーちと友だち登録しよう!!



HP

LINE

あまーち設立20周年 社会福祉法人10周年



□情勢 2P

□水堂まつり 3P

□周年記念式典① 4P

□周年記念式典② 5P

□周年記念式典③ 6P

□周年記念式典④ 7P

□後援会のページ 8P

編集人 社会福祉法人あまーち
あまーち後援会

〒661-0026

尼崎市水堂町3-13-3

TEL: 06-6438-6002

FAX: 06-6438-6008

HP: <http://www.ama-chi.jp/>

二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行 定価五十円 発行人関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二二東興ビル四階

二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行 定価五十円 発行人関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二二東興ビル四階

「学ぶ」ということについて



先日、行われました「あまーち設立20周年、社会福祉法人10周年記念式典」は大変あまーちらしく楽しく温かい式典で、参加された理事の方からも完成度の高い式典だったねとお褒めの言葉も頂きました。企画、準備された実行委員会の方々、当日も含めて様々な形で関わってくださったなかま、職員、後援会の皆様に心からのお礼を申し上げます。記念冊子に寄稿いただいた皆様、当日足をお運びいただいた来賓の方々にもこの機会をお借りして深く感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。記念冊子にも施設長の加山さんが書かれていますが、あまーちの大切にしてきた事の一つに「学ぶ」ということがあります。狭い意味では学校などで知識を得たり、受験のための勉強などと捉えられますが、実際には人として生きていくために必要な行為ではないでしょうか。今私たちはどのような世界に生きていて、もっと生きやすい世の中にするにはどうすればいいのかを知り行動するための指針を得るのにまず学ぶことが不可欠です。少し前に日本障害者協議会代表の藤井克徳さんが、神戸新聞に「きざし」という題名で随想を寄せられていました。「価値なき生命の抹殺を容認する作戦」の隠語であり、ナチスの代表的な蛮行の一つである「T4作戦」について、その前に強行されたのが障害者を標的とした断種政策(強制不妊政策)であり、後に控えていたのがあの600万人ものユダヤ人虐殺だったと。どんな事象にも、前触れやきざしがあり、これらの段階での対応がその後の流れに大きく影響するとも。きざしに気づく力を持つために大切なこととして2点挙げられています。「一つは、知ること、もう一つはわかることである。知ることとは、知識を分厚くすることであり、座学に加えて体験も大きな意味を持つ。わかることとは、知ったことを深掘りすることであり、自身の血肉にすることである。知ることとわかることの峻別の中に大事な事柄が潜んでいるように思う。」と。まさに学ぶとはこのこと、知ることとわかることではないでしょうか。しかし、知ることと言っても一方的で不確かな情報も多い中でどう整理選択し正しい知識を得ていくのか、わかることはもっと難しいかとも思わざるを得ません。自分一人ではできないことですが、周りの人たちや仲間同士で話し合い、様々な意見や考え方をききながら討論を深める中で正しく知り、わかることに近づいていけるのではないのでしょうか。

藤井 啓子

あまーちの願い「平和の報告」



以前、平和の学習会を行い3名の方が発表しました。ひとりの方は「平和と恋」というテーマで話してくれた人は、せっかく結ばれた恋人たちや夫婦が引き裂かれたり、一度も恋をすることなく死んでしまう人がかなり多く、そのような戦争は無くなってほしいと思う。と発言していました。もう一人は、争いがない事だけが平和なのか。自分の持っている能力を生かせなければそこに苦しみがあるため本当の意味での平和にはつながらないと発言しました。会場にいる皆さんにとっての平和とはどういったものなのでしょうか。武力でしか国を守れないと考える人達もいて、いろんな考え方がありますが、あまーちや世界中の人たちの共通の思いとしては、どんなことがあっても武力に頼ってはいけないと思っています。近年の世界情勢は武力による紛争が多発しています。だからこそ、私たちはどんな時でも対話を大切に自分たちが思い描く未来を実現できるように声を上げ続けていきます。

鷲東 建志



あまーち設立20周年
社会福祉法人10周年

周年記念式典 報告 for ゆうの夢

【楽しく安心な for ゆう】

わたしたちあまーち for ゆうは市内になかなか重度の子どもたちを受け入れている放課後デイがなく少しでもそういった子どもたちやご家族のお力になればという想いから2018年の9月よりスタートしました。

今年で6年目を迎えています。

どんなところか簡単にお伝えしていきます。

定員は5名です。平日は学校終わりからの受け入れ

休日はお昼前から夕方までの受け入れとなっています。

小学校入学から高校卒業までの児童が対象となっています。

現在17名の登録うち14名は医療的ケアが必要です。なので、必ず看護師が毎日必要です。

スタッフ配置は看護師4名常勤が2名パートスタッフ7名です。

手厚い支援が必要なため1日あたり1対1になるように配置しています。

活動について平日は入浴休日は入浴と余暇活動をしています。

その他にはほっとスペースとの交流やイベント参加、外出等をしています。

今後の夢について語ります。

「もっと外出したい」

普段ケアに追われる日々ですが少しでも外出していろんな経験がしたいです。

「ニーズに応えたい」

医療的ケア児にはまだまだ在宅支援が多いです。少しでも受け入れが出来るようにしていきたいです。安心安全な for ゆうで感染予防や事故防止を行うこと、親御さんに寄り添うことで信頼を得られるようにこれからも務めていきます。

笑顔あふれる for ゆうでイベント参加や普段の活動を子どもたちとスタッフと一緒にこれからも盛り上げていくことで笑顔あふれる for ゆうにこれからもしていきます。

リフォーム、外構、剪定、住まいのことなら

ここちよい快適な
住まいをめざす

HOME & PLANNING COMFORT

代表者

小西 芳文

〒661-0011 尼崎市東塚口町1-6-1-117

携帯. 090-8207-5116

Tel. 06-6427-4787 FAX. 6427-2039

第47次きょうされん署名募金活動

はじまります!

ご協力をお願いします!

障害者福祉についての法制度拡充を求め
る国会請願第47次国会請願のための
署名活動を行います。皆様のご協力よろ
しくお願いします。



11/18(土)中央北生涯学習プラザ大ホールにて「あまーち設立 20周年 社会福祉法人 10周年」式典が行われました。これまでの感謝とこれからの希望をみんなで伝えあいながら、笑顔と歌声が響いた素敵な式典でした！

<式次第>

1. 開会の言葉
2. フルート演奏
3. 理事長挨拶
4. 来賓祝辞
5. なかま代表挨拶
6. 感謝状贈呈
7. 閉会の言葉

<あまーちのねがい>

1. 開会の言葉
2. 平和へのねがい
3. 各事業のねがい
4. みんなで歌おう
5. 閉会の言葉



ほっとスペースあまーちの岸田茂です。あまーちに入って22年目です。あまーちでの仕事は、喫茶のウェイターやマーブリング製品の作製をしています。周りの人と協力し合って楽しくしています。

この20年を振り返ると、私は「あまーちがあって良かった事」として昔一時的にあまーちを辞めた時があり、職員やなかまから「しんどかったら、戻ってきてくれて良いよ」と私の事を励ましてもらった事です。安心出来る場所があって良かったです。

逆にさみしい事は、職員が辞めてしまう事です。寄り添ってくれる職員やヘルパーさんが増える事が大切だと思います。

私には高齢になるお母さんがいて、将来の事を考える時、あまーちでグループホームが出来れば、もっと安心できる場所として過ごせるのになと思います。安心できる場所でパートナーと過ごすのが私の将来の夢です。

これからもあまーちでみんなと楽しく「自分らしく」頑張っていきたいです。
なかま代表 岸田茂



感謝状贈呈

長年にわたりあまーちにご尽力いただいた方へなかまやあまーちから感謝状が贈呈されました。



「笑顔でいれば」

作詞・作曲 NPO法人 ええうた工房

① 笑顔でいれば 楽しくやれる 楽しくやれば 元気が出てくる 元気が出れば 何でもできる ラララ 一人ひとりが かけがえないスター 最後まであきらめずに 見つめよう夢のかたち 絵本を(書きたい) 有名に(なりたい) 一歩ずつ あまーちラララ みんなの笑顔は最高	③ 笑顔でいれば 嬉しくなれる 嬉しくなれば チャレンジできる チャレンジすれば 何でもできる ラララ 一人ひとりが かけがえないスター 幸せはみんなそれぞれ 私たちひとりじゃない 平和に(したい) 長生き(したい) 大切に あまーちラララ みんなのチャレンジ最高
② 笑顔でいれば なかまが増える なかまが増えれば 協力できる 協力すれば 何でもできる ラララ 一人ひとりが かけがえないスター 君たちはいつも周りを キラキラと明るくしてくれる 旅行を(したい) 結婚(したい) 歩きがそう あまーちラララ みんなのなかまは最高	④ 笑顔でいれば 歌がうたえる 歌をうたえば 明るくなる 明るくなれば 何でもできる ラララ 一人ひとりが かけがえないスター 歌声はいつも周りを ピカピカと元気にしてくれる ピアノを(弾きたい) ライブが(したい) スイングしよう あまーちラララ みんなの歌声最高 あまーちラララ 輝く花を吹かせよう

今式典にあたり、あまーちのオリジナルソング「笑顔でいれば」をNPO法人ええうた工房様に作曲をしていただきました。歌詞はなかま・職員から募ったフレーズを活かしていただき、みんなが楽しく歌える歌が完成しました！



ご来場いただいた方にお渡しした記念品や式典の看板はなかまと職員で一生懸命作ったものです！



今イベントでステージで発表した異さん・岸田さん・岩堀さんに感想を聞いてみました！

—みなさんお疲れさまでした！
全員：お疲れさまでした！
—11/18の周年記念式典を無事終えて、今のお気持ちを聞かせてください。
岸田：僕はなかま代表のあいさつでは準備段階で言いたい事がうまくまとめられて良かったです。
—お二人から見ていかがでしたか？
岩堀：とてもいい感じでしたね。
岸田：ありがとう。
異：岸田さんの思いを改めて聞く機会になり、知ることが出来て良かったです。
—岩堀さんはどうでしたか？
岩堀：私も仕事の報告を頑張りました。
異：たくさん練習したんだろうなと伝わる内容でした。すごく良かった。
岸田：実際に練習している姿を見ていたから、良かったなあと思ったよ。
岩堀：緊張もありましたが、自己紹介の後に拍手してもらって頑張れました。
—異さんは実行委員長としてどうですか？

異：式典の緊張感もあったけど、みんな楽しそうにしていたり、終わってから周りの方に「良かったよ」と言っていたので、それが本当に良かったです。時間が想定してたより早く終わってしまったけど、みんなで労える時間が出来たことも結果的には良かったと思いました。お二人は楽しかったですか？
岸・岩堀：楽しかった！
異：本当に良かったです。
岩堀：異さんの頑張る姿を見てたら、私もその役割をしたい！と思いました。
異：そうやって言ってくれるなかまがたくさんいるので30周年は皆でやりましょうか。笑
—次の10年後に向けてそれぞれの目標を教えてください。
岸田：僕は職員のような役割に付きたいです。
岩堀：今回の周年記念式典の中での岸田さんのようななかまの代表としてみんなの思いを伝えたいです。
異：10年経つときっとレベルアップしているだろうし、またみんなで楽しめたら。20周年式典を今回僕はしたい思いが強く、それは何故かという、みんなと一緒にこれまでを振り返って「よく頑張ったよね」と伝え合いたかったんです。岸田さんも20年頑張ってこられてきましたもんね。
岸田：みんながサポートしてくれたおかげです。



なかまからの報告・願い



ほっとスペース「仕事」

わたしたちはこれまで仕事として喫茶やマーフリングをした紙製品をつくったり、SDGsグッズを作ったりしています。

わたしたちの仕事の願いを發表します。それはキッチンカーです。キッチンカーで色々な所へ行ってコーヒーや自主製品の販売にいきたいです。

岩堀 英美



ほっとスペース「イベント」

春は花見、夏は、水合戦、秋はハロウィン、冬はクリスマス会などいろいろなイベントをしています。

ハロウィンは、なかニコ会の企画班が考えました。試行錯誤しながら、他のメンバーの意見を取り入れながら、あまーちのなかまが楽しいと言ってくれたことがとてもうれしかったです。そして私たちの願いはみんないろいろなところに遊びに行きたいです。わたしはUSJにいきたいです。

野上 祐華



ほっとスペース「学ぶ」

わたしたちは毎年権利条約の学習会やSDGsの勉強会をしています。特にSDGsに力を入れて取り組んでおり、なかま一人一人が目標を立て持続可能な暮らしを実現できるように考えています。ほくが、取り組んでいることはあまーちには、水筒を持ってくるのですが、プライベートで出かけたときはいつも2本のペットボトルを買っていましたが、1本にしています。病院の洗面所で使うペーパータオルを1枚で済ませるようにしています。

いこいに水堂まつりで不要なものを必要な人に使ってもらう「0円のお店」をやりました。僕は、服やアクセサリが欲しくて、黒い服をゲットしました。あまーちや家で着ています。

中村 良



ほっとスペース「地域」

喫茶店は、地域のみなさんに来てもらえるためにやっています。

お年寄りのために茶話会をしています。コロナの前は、餅つき大会や、近くの小学生に、喫茶店でウエイトレス、ウエイターの体験をしてもらい、私が小学生に、教えました。

将来は、あまーち全部を使ったイベントをして、たくさんの地域の人に、来てもらいたいです

大原 友貴



ほっとスペース「運動」

この4つ事(「仕事」「イベント」「学ぶ」「地域」)を叶えるためには国に私たちの声をとけなければいけません。その声を届けるために、署名活動が大切です。

私は先日初めて優生裁判の傍聴にきました。当事者の方の思いを聞いて優生保護法はいけな法律だと改めて思いました。できるだけたくさんの署名を集めて応援していきたいです。

これからもなかま職員みんなで署名活動を頑張っ、国に私たちの思いが届くように頑張ります。そこできてくださっている皆さんにお願いです。後ろに国会請願署名と優生裁判の署名が置いてあります。一筆でも多く集めたいと思っていますみなさんご協力お願いします。

巽 勇太



ライフサポート

わたしから「家事援助のサービスを利用して自分自身が成長した事」と「今後、家事援助を利用してやってみたい事」を發表します。

はじめに「家事援助のサービスを利用して自分自身が成長した事」は、ヘルパーさんと一緒に、洗濯物をただ単に炊飯器からご飯をよそう事などが出来るようになりました。夕食を作る時は材料にもよりますが、「今日はこれを作ってみたい」とヘルパーさんに相談して一緒に作っています。得意料理というのはまだないですが、二色丼は作れるようになりました。

またヘルパーさんを使うようになってから、人にお礼や頼み事が出来るようになりました。次に今後、家事援助を利用してやってみたい事はヘルパーさんとご飯を作る機会を多く作って、いずれはパートナーと2人で夕食をつくりたいです。

巽 ひかる

いこいに水堂祭り2023

「0円のお店」開店しました。 ～ゆずりあいからはじまるSDGs～



私たちの周りにはたくさんの物が溢れていますが、それでも広告や宣伝によってほしいものが次々と現れ、物はより安く効率的に大量生産できるようになったためお金を、物を買うことに費やして、その事が当たり前になってきました。その結果、不要なものが増え、売れなければ廃棄し大量のごみが排出され環境にも影響が出るようになりました。

そこで「0円のお店」があれば、「ゆずった人は家が片付き、ごみが減る。」「もらった人は必要なものが手に入りお金を使わないで済む」という経験をしてみるのはいかがでしょうかと考え、あまーちのSDGs委員会でやってみようという事になりました。

新聞に掲載していただいたこともあり、遠くからも近くからもたくさんの方々に「家庭用品・衣類・子ども用品・食器類・本・雑貨」など使える物をたくさん提供していただくことができました。

10月21日(土)に水堂いこい祭りの一画に「0円のお店」をだして、当日はたくさんの方たちに来ていただき、大盛況となりました。子どもからお年寄りまで「これ本当にタダでいいの?」という言葉がたくさんいただき、小さい子どもさんに「どれでも好きなものを持って帰っていいみたいよ」と声をかけるお母さんの姿とたくさんの人たちの笑顔がありました。あまーちの仲間たちも看板づくりやモノの仕分け作業、チラシ作り、当日来ていただいた人に「0円のお店」の趣旨を書いたチラシの配布などをしました。たくさんの人たちが来てくれたこと、欲しいものを持って帰っていただいたことなど「やってよかった。」という感想でした。第2弾は、1カ月後の11月21日(火)にあまーちの前で実施しましたが、残念ながら平日の昼間という事でお客さんは少なかったため、また春ごろに土曜日や祝日に開催出来たらと考えています。

数十年前までは、物は簡単に手に入らず、丁寧に作られたものを修繕して大切に使うてきました。しかし現在はなんでもお金で解決し、その反対にお金がないと何もできないと思ひこんでしまっています。「安いモノ」の裏には安い賃金で働かされた人たちが学校にも行けず働かされる子どもたちがいます。そしてモノを作る過程や捨てる過程で環境が壊されていることに関心を持ちたいと思ひます。そもそも物をたくさん持つことが「本当の豊かな生活」なのかが私たちに問われているんだと思ひます。必要なモノがなければ「買う」のではなく、「貸してもらおう」「もらう」「つくってみる」「別のモノで代用する」「みんなで共有する」などは、ほんの数十年前までみんなが当たり前にしてきたことです。その事で人とのつながりもできます。私自身もなかなか今までの生活を変えることは難しいと感じていますが、少しでもできることをやり続けることで、「持続可能な社会」につなげていきたいと思ひています。

施設長 加山吉恵

